

プレスリリース

報道関係者各位

「artKYOTO 2020 ～History in Action Festival～」

美術市（アートフェア）に加えて、舞踊劇や美術史体験ツアーなどを同時開催
世界遺産・二条城と重要文化財・京都国立博物館の2会場を舞台にアートの祭典として12月に開催決定

今年のartKYOTOは、「artKYOTO 2020 ～History in Action Festival～（以下、本イベント）」と題し、先人たちが守り育んできた文化芸術の歴史を現代の知恵として刻むべく、美術市（アートフェア）に加えて、舞踊劇や美術史体験ツアーなどの複数の文化芸術プログラムを同時開催いたします。

複数プログラムを実施することにより、世界遺産・二条城だけでなく、明治期近代建築物である重要文化財、京都国立博物館を会場に加え、開催日程を2020年12月4日（金）～6日（日）（12月3日（木）はプレス・関係者のみの特別内覧会）に変更して開催します。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活スタイルの下でも、文化芸術の鑑賞から所有、そして様々な体験の場の提供を目指してまいります。



artKYOTO 2020 開催プログラム

<開催プログラム>

- 古美術から現代美術まで幅広いアート作品の鑑賞と購入がお楽しみいただける「美術市（アートフェア）」
- 二条城の歴史を現代大衆演劇の早乙女太一と和楽器ユニットRin'が再現する「舞踊劇」
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活躍の機会が奪われた次世代の芸術家を支援する「若手アーティスト支援」
- 狩野派をテーマに京都を回遊しながら美術史の変遷を体感できる「美術史体験ツアー」

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの活動が制限され、“想像力”と“創造力”の源でもある文化芸術に関わる活動も中止や延期を余儀なくされています。しかし、社会全体が閉塞感を感じている時代だからこそ、多様な価値観を与える文化芸術が果たすべき役割は大きいといえます。千年を超えて歴史と文化が息づくまち・京都において、本イベントを通じ、文化芸術と経済の好循環を生み出すことはもとより、文化芸術が人々の心に潤いを与えることを目指し、ウィズコロナ時代の文化芸術の在り方を模索してまいります。

明日9月25日朝10時より、公式HP(<https://artkyoto.jp/>)にて、前売券の発売を開始いたします。

以下、美術市（アートフェア）をはじめ、各プログラムの開催概要をお知らせします。

【本件に関するメディアからの問い合わせ先】

artKYOTO2020 PR 事務局 広報担当：白井、熊谷、和田 HP：<https://artkyoto.jp/>

電話/FAX：06-6337-7261 mail：artkyoto.pr@mash-japan.com

9月24日13時半より行われた「artKYOTO 2020」記者発表会の様子
(於：engawa KYOTO)



フォトセッションの様子



挨拶を述べるartKYOTO実行委員長の門川大作・京都市長



トークの様子

写真右 artKYOTO実行委員長 門川大作（京都市長）

写真左 artKYOTO総合プロデューサー 來住尚彦（一般社団法人 アート東京 代表理事）

2020.9.24時点

【本件に関するメディアからの問い合わせ先】

artKYOTO2020 PR 事務局 広報担当：白井、熊谷、和田 HP：<https://artkyoto.jp/>

電話/FAX：06-6337-7261 mail:artkyoto.pr@mash-japan.com